

平成 27 年度 第 5 回河内長野市文化振興計画推進委員会

【日時】平成 27 年 9 月 8 日（火）午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分

【場所】ノバティホール（河内長野駅前市民センター）3 階 多目的ホール

【出席者】

<河内長野市文化振興計画推進委員会委員>

末延 國康・浅尾 広良・荒川 透・今村 尚美・来村 多加史・長山 公一・寶楽 陸寛・
水落 学・安福 廸子

<事務局>

（河内長野市教育委員会事務局文化・スポーツ振興課）

和田・橋本・森井・上田・東畑・西尾

（ランドブレイン株式会社大阪支店）

小笹、三浦

【配布資料】

- ・平成 27 年度 第 5 回河内長野市文化振興計画推進委員会 次第
- ・資料 1 河内長野市附属機関設置条例
- ・資料 2 河内長野市文化振興計画推進委員会運営規則
- ・資料 3 河内長野市附属機関等の設置、運営及び公開に関する指針
- ・資料 4 河内長野市文化振興計画推進委員会会議の傍聴要領
- ・資料 5 河内長野市文化振興計画素案
- ・資料 6 第 4 回河内長野市文化振興計画推進委員会議事録

〈開会〉

案件 1 委嘱状の交付

- ・ 委嘱状の交付
- ・ 教育長挨拶
- ・ 配布資料の確認

案件 2 委員長・副委員長の選任

- ・ 事務局一任との発言を頂く。

事務局より、委員長は大阪芸術大学芸術学部初等芸術教育学科教授の末延委員、副委員長は同じく大阪芸術大学芸術学部初等芸術教育学科教授の荒川委員を提案。

－異議なし－

委員長には末延委員、副委員長には荒川委員を選任。

- ・ 委員長及び副委員長挨拶
- ・ 出席状況の報告

案件 3 会議の公開及びその方法

- ・ 前委員会において公開と決定されたが、引き続き公開とすることについて了承を求める。

(資料 3 参照)

－異議なし－

会議の公開を決定。

- ・ 事務局より公開の方法について説明 (資料 4 参照)

案件 4 次期文化振興計画素案について

末延委員長

今日もファシリテーター役を宝楽委員にお願いする。解説を求める。

寶楽委員

今日のゴールを確認する。ゴールは、前回からの議論を受け変更された素案についての改良点を確認することである。議題は 3 点ある。5 ページ計画が対象とする文化の範囲についての確認、28 ページ文化振興の目標、41 ページ計画の進行管理になる。

末延委員長

変更点について、各ページの確認をお願いします。事務局に解説を求める。

<文化振興計画素案変更点解説>

末延委員長

委員の皆様の意見を頂きたい。

寶楽委員

まず28ページ文化振興の目標について、現状の目標は、方針1と2を組み合わせた「市民が輝き地域がつながる」と、方針3と4を組み合わせた「地域がつながりまちが輝く」です。来村委員よりご提案いただいた意見があると聞いている。

目標1について「ひとり一人が文化活動に参加できる環境をつくります」、目標2について「生活の向上と地域の活性化をうながす文化活動をめざします」解説をお願いします。

来村委員

市民が読むことを意識し、投げかける言葉遣いとした。趣旨については変更していない。あくまで参考として提案を行った。

また、目標なので誰が読んでも分かりやすいように、客観的な表現よりも意思表示がいいと考えた。河内長野型の文化についての説明について、めざす中心はラブリーホールつまり本物の文化に触れる環境であり、それを周りに広げていくことを河内長野型の文化モデルとする。その点を説明しやすい文章として入れ込んだ。

寶楽委員

前回の議論を踏まえた結果として書き方はいかがでしょうか。

浅尾委員

前文の中で河内長野型文化事業の説明を入れたのは良いと思った。一方で、目標1や2を言い換えることなのか、解説文と目標を一つにまとめることなのか、今の論点の確認をしたい。

寶楽委員

前文や説明書きの表現が合っているかの確認、そしてまとめた目標の表現はどうなのかを確認している。

浅尾委員

前文に河内長野型文化事業モデルの解説が入るのなら、目標はより具体的がいいと思う。来村先生の案のほうがはっきりとして、良いと思う。

水落委員

語感の問題になるが、目標2の生活の向上という言葉が、地域の活性化と並列になった場合少し違和感がある。もう少し洗練された言い方にならないか。

寶楽委員

生活の向上については、確かに世代間に理解の差がある。

来村委員

あくまで新しい目標を考えて提案したのではない。解説文の方向性を示そうとして提案した。生活の向上については不要である。

末延委員長

前回、繋がりという言葉、循環という言葉に変更した。中道委員からも提案があった。

寶楽委員

目標の見出しはそのまま、説明書きについて来村委員と寶楽委員の修正提案を活かすことにする。また、目標の見出しについて目標1 市民が輝き地域がつながる、目標2 地域がつながりまちが輝くとなりました。

末延委員長

他に意見あれば求めます。無いようなので、次の議題へ。

<計画が対象とする文化の範囲について>

来村委員

5 ページの4. 計画の期間について、出だしの「文化が成熟し」の後に「、」を入れて頂きたい。

寶楽委員

先ほどの挨拶で教育長からスポーツの話が出てきたが、ここにはスポーツは入れないという考えで良いのか。

東畑主査

確かに教育長から発言がありましたが、教育委員会でも整理しきれていない部分があります。現状、文化の計画、生涯学習の計画、スポーツの計画の3本柱の計画がありますが、一般的には、それらを全て含めて生涯学習という考え方があります。現行は、3つ同列としていますので、入れないという方向で考えています。

浅尾委員

4 ページの3 について、上位計画として総合計画における文化行政の位置づけは新しく追加したのか。

東畑主査

総合計画のページについては、掲載場所を変更させて頂きました。内容は総合計画の記載内容の更新のみで、上位計画として総合計画を示したいという理由で前に記載させて頂きました。

来村委員

文化の範囲について、規定は誤解の無いように書かなければならないが、文化芸術振興基本法からの引用であればこの通りに書いたほうが良い。そうでないのであれば、メデイ

ア芸術の部分も注釈する必要がないのではないかと。規定は誤解のないように表記すべきだが、箇条書きで引用する程度ならわかりやすくすべきではないかと。

末延委員長

箇条書きなので削除していいのではないかと。あくまでも参考としての表記である。

来村委員

また、文化芸術の種類の説明もイタリックにせず、文章の最後につけるといいと思う。

浅尾委員

5 ページの計画の期間の中で、5 年経過後に検討しますとなっているが、41 ページの計画進行管理と整合性がとれていない。

東畑主査

41 ページの 2 年経過時に見直すとしているが間違いです。検証については 2 年ごとという議論がありましたが、41 ページの 2 年という表現は 5 年に訂正します。

末延委員

5 ページの「地域における文化芸術：地域固有の伝統芸能及び民俗芸能」のカッコは改行すべきではないかと。

来村委員

そもそも参照なので、カッコの内容は省いてもいいのではないかと。

今村委員

条文をそのまま載せないのならば、レコード等もおかしいのではないかと。

来村委員

「第 8～14 条による」を「第 8～14 条参照」に変更すれば改変できるのではないかと。

寶楽委員

文化の範囲の参考は、前計画を踏襲しているが、変えるべき箇所は変えたほうがいい。

荒川委員

例えば芸術に関するところは抜いてもいいのでは。

寶楽委員

あくまで範囲としてなので必要ではないかと。

末延委員長

芸能の種類も入れ替えて表記する方法もある。

長山委員

修正し始めるときりがないので、参考として入れておけばいいのではないかと。

<計画の進行管理について>

寶楽委員

次は、41 ページについて。前回の議論では評価や検証は2年ごとでいいが、見直しは5年だという話だった。

長山委員

実際に前回の素案もそのように書いてあるので修正ミスがあったのであろう。

寶楽委員

「社会情勢や施策の評価もふまえ、市民アンケートを実施し、2年経過時」が5年経過の誤り。

来村委員

市民アンケートが5年ごとと表記するのであれば、2年ごとに評価や検証をおこなう内容はこの図の中に示しておくべきではないか。

寶楽委員

前回の委員会では事務局がレーダーチャートの分析などの評価する対象の情報を準備し、委員会に諮るという話になっていた。

来村委員

2年ごとの自己評価というものを入れる必要があるのではないか。上の文章とかみ合っていないと感じる。

「評価・検証を2年ごとに行います」というのは2年ごとにどこが行うのか主語がはっきりしていないといけない。

寶楽委員

全体の主語は「本市は」ではないか。

荒川委員

(2) 評価体制では、「河内長野市文化振興計画推進委員会において総合的な評価や意見を求める」となっているがどうか。

東畑主査

今回就任して頂いている皆様には次期計画の策定をお願いしていますが、策定後は評価が主な業務となります。資料1を御覧ください。2月末に答申頂き、新しい計画が完成した暁には、新しい計画に基づいた進捗状況を取りまとめ、それについて委員の皆様からご意見を頂きたいと思います。

来村委員

委員会の開催は継続するという事か。

東畑主査

メンバーは変わっても委員会は続きます。

寶楽委員

図について話すと、行政から文化振興計画推進委員会に矢印が向き、報告を行うことで整理が付くのではないかと。

来村委員

自己評価に対して、委員会が報告をもらいそれを評価するという。市民に向けての矢印が無くていいのか。

荒川委員

評価の上向き矢印に対して、下向き矢印で報告というものがあればいいのではないかと。

市民の声と委員会が一括りになっていないか。四角の枠の大きさも同じくらいでいいのではないかと。

来村委員

市民の声と委員会が一括りにしているのが良くない。委員会の窓口はあくまでも行政である。また、2年に一度評価を行うことを図に入れておけばいいと思う。

荒川委員

行政から下向きに委員会に矢印を伸ばせば解決できるのではないかと。

来村委員

市民の声と委員会を一括りにしている外枠を消し、市民と行政と委員会について明確にすべき。また、5年に一度市民アンケートの実施という内容は本文にも記載する必要がある。

寶楽委員

行政、市民の声、委員会のマスの置き方を並び替えればすっきりするのではないかと。

来村委員

あくまで市民の声を聞く窓口は行政であり、やり取りは行政と市民で行うもの。

寶楽委員

行政は市民に報告を行い、市民の声としてアンケートを取るという流れで良いか。また、5年に一度市民のアンケートを実施し、計画を見直す必要があるかどうか検討するということですね。

来村委員

2年に一度のやり取りとは、委員会と行政のやり取りということで良い。本文に書いていないことを図に表記するのはおかしい。

浅尾委員

「市民アンケートを実施し、5年経過時に見直す必要があるかどうか検討します」という表記はどうか。

末延委員長

では本日の議論を踏まえ修正し、皆さんからのご意見もまたお聞きしたい。

東畑主査

今回、事務局から修正させて頂いた部分を網掛けにしています。その理由を説明させて頂きます。

<事務局より修正意図を説明>

来村委員

17、18 ページの文化資源の羅列を課題に入れるのはおかしいのではないかと、どちらかというと、資源については、30 ページ以降と関連があるのでそちらに入れてはどうか。

寶楽委員

都市特性の中に入る方がいい。入れ替えるべきではないか。

荒川委員

宝楽委員の言うとおりに、河内長野市の都市特性、住みやすいランキング、そして河内長野市における文化資源に入れる方向が良い。

<事務局より P. 28 基本理念の修正について説明>

来村委員

理念の修正について、「いきいきと心豊かに暮らすまち」にするなら、サブタイトルは「ひとと人がめぐりあい」にすべき。

水落委員

理念として通ればいいのかもかもしれないが枠組みを大きく広げることで元々の意味が薄れてしまっている感じがする。文化から始まるという考えで河内長野型ということを進めてきた。

寶楽委員

河内長野型文化事業をわかりやすくするために目標をつくった。本来的には追加の文言を入れるべきではないと思う。話し合ってきた骨子は折るべきではないと思う。文化振興の目標の中に、活力というところは書かせてもらっているので、「いきいきと」が入っていることは問題ないと思うが、「感動と活力を生む」は、理念の考え方を変えてしまうと思う。

末延委員長

前回の会議で、補足を入れることが話し合われた。前回、いきいきや活力といった活性化は循環の元になると合意できた。入ることは問題ない。

来村委員

主題か副題のどちらかを変更するという事で妥協してもらえないだろうか。

森井課長

前回委員会では「人に元気を、まちに活力」という言葉で河内長野型を表現できないか

ということを相談させていただきました。その上で今までの意見をふまえ、「感動と活力を生む」という表現を書かせて頂きました。基本理念はキャッチコピーのようなものであり、強く打ち出す必要があります。今までの議論の経過がありますので、目標の中で活力を表現でき、それで合意がとれれば良いと思っています。理念のインパクトが弱いと感じています。前回委員会で「文化は感動、それにより人やまちが変わる」というご意見もあり、それを参考に提案させて頂きました。

来村委員

その議論の際には、文化振興の目標という項目は無かった。活力という概念は持っていなかった。そのため、解説文で補完する提案を行った。本文の河内長野型文化事業の前に、活力を生み出すという言葉は入っていないので、理念の説明書きは修正する余地がある。ニュアンスをサブタイトルに盛り込みたいという気持ちは分かるが、少し長いと感じる。

末延委員長

主題として「市民が文化を身近に感じ、いきいきと心豊かに暮らすまち」がきちんと出ている。「～ひとと人がめぐりあい、感動と活力を生む河内長野型文化事業の創出～」は副題であり、長いか短いは問題ない。

来村委員

少なくとも、「めぐりあう」を「めぐりあい」に変更をお願いします。

末延委員長

また、今後審議をはかっていくなかで、大きな問題、小さな問題が色々出てくると思う。行政と委員長、副委員長が集まり対応していく。しかし、大きな問題が出れば皆さんお集り頂き、ご意見を頂ければと思う。では以上で終了いたします。

以上